

Overview: 主イエスは再来する前に、必ず正常な召会生活を回復します。召会生活の回復ほど主の心に触れるものではありません。私たちは、主が愛する召会生活の回復のために自分自身を主に捧げるべきです。召会生活の回復のために、私たちは内側でクリスチャンになることを学び、造り変えられるべきであり、また、キリストを生きるクリスチャン生活(在職生活、結婚生活、家庭生活など)をすべきです。そのために、私たちは霊を活用し、思いを霊につけて、思いの霊を持ち、外側にキリストを表現します。このようにして私たちは、祝福の神を周りの人に流す健康新生活を実行し、かしらにつり上げられます。また、召会生活は相互の交わりの中にあり、団体的にキリストを表現します。私たちはこのような召会生活の回復のために祈るべきです。

I. 主イエスは再来する前に、正常な召会生活を完全に回復します:

A. 召会生活の回復ほど主の心に触れるものではありません。
B. 主は再来する前に、この現在の時代において召会生活を得て、彼の敵を辱めなければなりません。
C. サタンが召会に損害を与えるために何を行なおうと、主イエスは戻って来ます。彼の召会は彼を待ち望んでいます。』

II. 召会生活は、団体的な方法で私たちを通して生かし出されたキリストです:

A. 召会生活は、私たちがキリストを私たちの命、また私たちのパースンとする生活です。
B. クリスチャン生活は宗教的な生活ではありません。クリスチャン生活はキリストご自身が私たちを通して生かし出された生活です。
C. 私たちがキリストを生きる時、キリストは一の中で私たちを共に結合し、団体的な方法で私たちを通して生かし出されます。
D. キリストご自身は私たちの命であり、私たちの内側のその霊です。召会生活は、命として実際化されたキリストご自身であり、また私たちの中に住んでいる命を与える霊として実際化されたキリストご自身です。
E. 召会生活を実行する方法は、自分自身とあらゆるものを十字架につけ、キリストを命とすることです。そのとき、私たちはキリストによって、またキリストをもって飽和され、浸透されます。』
F. 私たちは召会生活を実行するために、内側でクリスチャンとなることを学び、造り変えられる必要があります:
1. 召会生活は、私たちに飽和し、浸透し、私たちを造り変えるその霊としてのキリストご自身です。
2. 召会生活は、造り変えられた生活であって、天然の生活ではありません。召会生活は、私たちの内側で生きている主観的な霊としてのキリストご自身です。
3. 私たちは造り変えられれば造り変えられるほど、またキリストをもって満たされれば満たされるほど、ますますキリストの生き生きとした、真の、実際の肢体となり、ますます真の召会生活を認識します。
4. もし私たちが造り変えられるなら、容易に他の人と共に結合され、組み合わされ、建造されるようになります。これが召会生活において建造されることです。

III. キリストを真に経験することは常に、召会生活を生み出し、また召会生活を要求します:

A. 私たちがキリストを経験すればするほど、ますます私たちの内側のもので私たちに正常な召会生活の中に生きることを要求します。
B. 私たちが真の生きた方法でキリストを経験するとき、キリストは私たちに召会生活の中へと入ることを要求します。なぜなら、キリストを私たちの中へと分与することは、召会を生み出すためであるからです。
C. 神は彼ご自身を私たちの中へと分与し、すべてとなります。その目的は、彼の団体的な表現、すなわち、召会を得るためです。
D. 私たちがキリストを私たちの命、パースン、すべてとするとき、私たちの内側のこのキリストは正常な召会生活を要求します。実際、私たちの中のキリストが、召会生活となります。

IV. 召会生活は、キリストの唯一の頭首権の下でかしらにつり上げられる生活です:』

A. 神は彼の選ばれた人々をかしらにつり上げて、キリストのからだとならせ、キリストをかしらとします:
1. すべてのものをキリストの中でかしらにつり上げることの第一段階は、神がキリストの唯一の頭首権の下に彼の子たちを置くことです。
2. 召会が率先してキリストの頭首権の下でかしらにつり上げられるとき、神は他のすべてのものをかしらにつり上げる道を得ます。
B. 正常な召会生活において、私たちはキリストの中で、かしらにつり上げられつつあります:
1. もし私たちがキリストの中でかしらにつり上げられることが何であるかを知らないなら、召会を知ることはできません。
2. 私たちは召会生活において率先して、キリストの中でかしらにつり上げられつつあります。このことのために、私たちはすべての事で、かしらであるキリストの中へと成長し込む必要があります。

V. 交わりは、召会生活の実際です:

A. この交わりは、私たちと三一の神との間の一を含んでいるだけでなく、すべての信者たちの間の一をも含んでいます。』
B. 召会とは、キリストの交わり、キリストを共に享受すること、キリストを相互に享受することです。
C. 交わりは信者たちの間の相互の流れをも暗示しています:
1. 交わりは新約において、私たちと主との間の流れを、また私たちの相互の流れを描写しています。
2. 私たちが霊的な交わりにおいて持つ流れ、水流は、一と命の両方を含んでいます。私たちの交わりは一の流れです。
3. この交わり、この相互の流れは、召会生活の実際です。

VI. 召会生活は、神聖な栄光が現されることの継続、すなわち、御父により神聖な栄光をもってキリストの栄光が現されることの継続です:

A. 栄光は、神聖な命と神聖な性質の表現です:
1. もし私たちが神聖な命と性質によって生きるなら、神聖な栄光を表現します。
2. 私たちが神聖な命と神聖な性質によって生きれば生きるほど、ますます神聖な栄光が召会の中にあるようになります。
3. この栄光の表現は、主イエスの栄光が現されることです。』
B. 神聖な栄光が現されることは、主イエスの復活をもって開始し、今日も継続しています。
C. 召会はこの栄光が現されることの中で生み出されました。そして、神聖な栄光が現されることの中で成長し続けます。
D. 召会が実を結ぶ事柄において行なうことは何であれ、神聖な栄光が現されることの継続です。

VII. 召会生活は、キリストの団体的な表現です:

A. キリストの表現としての召会生活のかぎは、思いの霊です:
1. もし私たちが思いの霊にしたがって生きるなら、召会生活には神聖な特性の表現があるようになります。
2. 私たちは、キリストの味わいと神の表現を持つ団体の人々となります。
B. 謙虚、柔和、辛抱強さ、愛という私たちの美德には、三一の神の具体化としてのキリストの表現があるべきです。
C. 召会生活はキリストのかぐわしさと味わいをもって、また神の特性をもって満たされていなければなりません。このような生活は、三一の神が私たちの人性を通して生きることです。
D. 何世紀にもわたって、主はこのような召会生活を待ち望んできました:
1. このような召会生活がやがて主の回復において、私たちの間で完全に実行されるように、私たちは祈ります。
2. どうか主が全地において、真の召会生活の回復を通して、彼ご自身のこのような表現を見ることによって満足しますように。』

第一日: マタイ16:18 そこで私もあなたに言う。あなたはペテロである。私はこの岩の上に、私の召会を建てる。ハデス[陰府]の門も、それに勝つことはない。

啓1:11 それはこう言った、「あなたが見ていることを巻物に書いて、七つの召会に、すなわち、エペソに、スミルナに、ペルガモに、テアテラに、サルデスに、ヒラデルヒヤに、ラオデキヤに送りなさい」。

22:20 これらの事を証しする方が言われる、「しかり、私はすぐに来る」。アーメン。主イエスよ、来たりませ！

第二日: ガラテヤ2:20 私はキリストと共に十字架につけられました。生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです。そして私は今、肉体の中で生きているその命を、私を愛し、私のためにご自身を捨ててくださった神の御子の信仰の中で生きるのです。

コロサイ3:4 私たちの命なるキリストが現される時、あなたがたも、彼と共に栄光のうちに現されます。

第三日: ローマ12:2 またこの時代にかたどられてはいけません。むしろ、思いが新しくされることによって造り変えられなさい。それは、何が神のみこころであるか、すなわち何が善であって、喜ばれ、完全なものであるかを、あなたがたがわきまえるようになるためです。3 私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがた一人一人に言います。自分自身について思うべきことを超えて、思い上がることなく、むしろ神がそれぞれに割り当てられた信仰の度量にしたがって、冷静な思いで思うべきです。4 一つの体の中には多くの肢体があり、そしてすべての肢体が同じ機能を持っていないように、5 私たちも数は多いのですが、キリストの中で一つからだであり、そして各自は互いに肢体なのです。11 熱心で急げることなく、霊の中で燃え、主に仕えなさい。

Ⅱコリント3:18 しかし、私たちはみな、主の栄光をおおいの顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。

第四日: エペソ1:10 時代の満了時のエコノミー[経綸]へ至るためです。すなわち、キリストの中で、天にあるもの地にあるもの、すべてのものを、彼の中でかしらにつり上げようとされたのです。

4:15 むしろ、愛の中で真実を固く保って、私たちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。

Ⅰコリント10:16 私たちが祝福する祝福の杯、それはキリストの血の交わりではありませんか？ 私たちがさくパン、それはキリストの体の交わりではありませんか？ 17 一つパンであるからには、私たちは数が多くても一つからだなのです。それは、私たちがみなこの一つパンにあずかるからです。

第五日: Ⅰコリント1:9 神は信実です。この方を通して、あなたがたは彼の御子、すなわち、私たちの主イエス・キリストの交わりへと召されたのです。

エペソ3:21 神に、召会の中で、またキリスト・イエスの中で、栄光がすべての世代に至るまで、永遠にわたってありますように。アーメン。

Ⅰヨハネ1:3 私たちが見たもの、聞いたものを、あなたがたにも伝えます。それは、あなたがたも私たちと交わりを持つためです。私たちの交わりとは、御父との、また御子イエス・キリストとの交わりのことです。

第六日: ヨハネ15:8 あなたがたが多くの実を結ぶことで、私の父の栄光が現され、こうしてあなたがたは私の弟子となる。

エペソ4:23 そして、あなたがたの思いの霊の中で新しくされ。

エペソ4:2 謙虚と柔和を尽くし、辛抱強さをもって、愛の中で互いに担い合いつつ、

経験①: 外側の状況を通して、内側でクリスチャンになることを学ぶ

召会生活は、私たちに飽和し、浸透し、私たちを造り変えるその霊としてのキリストご自身です。私たちは完全に造り変えられ、キリストに満たされるとき、キリストの生き生きとした、真の、実際の肢体となります。そうすれば、私たちは容易に他の人たちと共に結合され、組み合わせられ、建造されるようになります。これは木、草、刈り株のような天然的なものによる建造ではなく、金、銀、宝石のような造り変えられたものによる建造です。…召会は有機的なものであり、命の中で成長していくものです。

召会生活を持つために、私たちは十字架に行って、私たちの内側のすばらしい霊であるキリストに注意を払う必要があります。私たちは内なる感覚、内なる導き、内なる照らし、内なる示しに注意を払う必要があります。もし私たちが十字架に行って、内側のキリストを認識するなら、私たちははっきりするでしょう。あらゆる問題は十字架によって解決されます。こういうわけで、使徒パウロはコリント人への第一の手紙第2章2節で信者たちに、彼は彼らの間ではイエス・キリスト、しかも十字架につけられたこの方のほかは、何も知るまいと決心したと言ったのです。召会生活は、造り変えられた生活であって、天然の生活ではありません。召会生活は、客観的な教理としてのキリストご自身ではなく、私たちの内側で生きている主観的な霊としてのキリストご自身です。

外面的に自分自身を変えようとしてはいけません。それは虚偽です。あなたがたは内側から造り変えられて、からだの生ける肢体とならなければなりません。そうすれば、あなたがたは真の召会生活を認識するでしょう。これこそ、私たちが今日、必要としていることです。

中高生編

あなたは正常な召会生活を実行するために、内側でクリスチャンとなることを学び、造り変えられる必要があります。例えば、先生やクラスメイトとの人間関係において、誤解が誤解を生み、不愉快な雰囲気になってしまいました。これがあなたの外側の状態だとします。このような時、あなたは第一に、内側の主に戻り、祈る必要があります。「主イエスよ、私はなぜこのような混乱の状況に陥ってしまったのかよくわかりません。私はこのことにおいて、自分が内側でクリスチャンになることを学びたいのです。おお主イエスよ。私の内側で私に語りかけてください。そうすれば、私は自分の罪、欠点、弱さを知り、それを告白し、自分の内側を調整することができます。その後、私はどのように外側を調整したらいいのかがわかります」。

あなたの重要な秘訣は、まず内側でクリスチャンになることを学び、内側が調整されることです。その後、外側を調整すれば、必ず混乱は徐々に正常化します。また別の例を挙げます。例えば、あなたのテストの結果が、非常に悪かったとします。あなたはそのことで、単に落胆するだけであってはいけません。このような悪い結果が、あなたの益になるために、霊を活用し、思いを霊に付けて、次のように祈ってください、「おお主イエスよ、予想以上にテストの結果が良くありませんでした。しかし、このような時も、主に心を開き、主と交わることを学ばせてください。主と交わらなければ、私は同じような失敗を何度も繰り返してしまいます。おお主イエスよ、私の信仰を増強してください。私は信仰によって、この事を私の前進の機会とします」。また、テストの結果が良かった場合は、あなたは内側で高ぶりを対処することを学んでください。

Ⅱコリント 3:16 しかし、彼らの心が主に向く時はいつも、そのおおい取り除かれます。17 そして主はその霊です。そして主の霊のあるところには、自由があります。18 しかし、私たちはみな、主の栄光をおおいのない顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。4:1 こういうわけで、私たちはあわれみを得て、この務めを受けたのですから、落胆しません。

経験②: キリストの中で召会がつけ上げられることを通して、万物がつけ上げられる

今日、召会の中にある私たちは率先して、キリストの中でかしらにつけ上げられつつあります。もし私たちが進んで召会生活の中でかしらにつけ上げられようとしなければ、すべてのものをかしらにつけ上げるのを遅らせることになるでしょう。事実、もし私たちが選ばれた者が、進んでかしらにつけ上げられようとしなければ、神にはすべてのものをキリストの中でかしらにつけ上げることを達成する道がないのです。しかし、私たちが進んでこうするなら、神は喜びをもってこう言われるでしょう、「これらの者は率先してかしらにつけ上げられる先駆者である。彼らは私がすべてのものをキリストの中でかしらにつけ上げる道を開拓している」。召会が率先してキリストの中でかしらにつけ上げられるとき、神は他のすべてのものをかしらにつけ上げる道を得ます。

もしキリストの中でかしらにつけ上げられることが何であるかわからないなら、召会が何であるかを知ることはできません。召会は、まだ崩壊の中にある墮落した人々の堆積ではありません。召会は、キリストの頭首権の下で、神の選ばれた者たちをかしらにつけ上げることです。真の召会と対照的に、今日のキリスト教は堆積です。キリスト教のどこに行っても、あなたが見るのは堆積また堆積です。宗派や独立したクリスチャン・グループに多くの堆積があるのは、人類社会でのように、かしらにつけ上げることがないからです。しかし正常な召会生活の中で、私たちはキリストの中でかしらにつけ上げられつつあります。

在職青年編

神は彼の選ばれた人たちをかしらにつけ上げて、キリストのからだとならせ、キリストをかしらとします。すべてのものをキリストの中でかしらにつけ上げることの第一段階は、神がキリストの唯一の頭首権の下に彼の子たちを置くことです。召会が率先してキリストの頭首権の下でかしらにつけ上げられるとき、神は他のすべてのものをかしらにつけ上げる道を得ます。

あなたは召会生活において、率先してキリストの中でかしらにつけ上げられつつあります。このことのために、あなたはすべての事、かしらであるキリストの中へと成長し込む必要があります。あなたは、キリストのからだの肢体ですので、職場であなたを通してあなたが所属する部署がかしらであるキリストにつけ上げられることを経験することができます。なぜなら、神のエコノミーは召会をつけ上げることによって、すべてのものをつけ上げるのであるからです。

エペソ1:9 みこころの奥義を私たちに知らせてくださいました。これは、神がご自身の中で計画された彼の偉大な喜びによるもので、10 時代の満了時のエコノミー[経綸]へ至るためです。すなわち、キリストの中で、天にあるもの地にあるもの、すべてのものを、彼の中でかしらにつけ上げようとしたのです。

例えば、あなたの所属している部署は、業務の効率が悪く、業績がなかなか上がりません。その主な理由は、次のような事が考えられます。

- 部署のリーダーが、リーダーシップに欠けていることと、部員がリーダーに服さないことです。
- 個々の社員が、協力し合って一つの目標に向かって業務を行っていません。一生懸命業務に取り掛かっている、相互のコラボレーションが欠けています。

神から見ると、このような状況は崩壊の堆積であり、それはあなたが、キリストの中でつけ上げられることを通して、部署を引き上げることを経験する良い機会です。あなたは部署の中のリーダーのポジションにいなくても、あなたを通してすべてのものが引き上げられることを経験してください。あなたがこのことを経験する条件は、召会生活の中でキリストを享受し、召会を建造するために他の人にキリストを供給することです。ハレルヤ！

詩歌補充本、527番

- 1 主よ、おおいこころより取り、真の啓示を見せたまえ。
かいふくのめいかくな ビジョンをあたえませ。
なれのかいふくのビジョン、なれのかいふくのビジョン、
かいふくのめいかくな ビジョンをあたえませ。
- 2 主を復かつさせたちから、啓示によりわれは知る。
しん仰にてこのちから 召会にあたえらる。
- 3 この世のそらすものから、ながちからかい放する。
このちからしょう会へと われらをもたらず。
- 4 地方召かいのなかでいま 主はわがパーソンとなる。
そとなるひとおとろえ、こころは主のため。
- 5 とともに十字架にて死に、いま主はわがパーソン。
うちなるひと復興され、主はない住される。
- 6 かく自が自己をいなむと、栄光のからだあらわる。
ひとりのあたらしいひと、なれはそのパーソン。
- 7 召会生かつ、あたらしいひと、地方召会にてあらわる。
からだは団たいのひと、主、からだのパーソン。

注: 2 節から 7 節は同じ歌詞を繰り返し歌う。

補充本, #534 使我知你恢复所是

1. 哦主, 将我帕子去除, 赐下真实启示;
哦, 主, 使我异象清楚, 知你恢复所是。
哦, 主, 使我异象清楚, 知你恢复所是;
哦, 主, 使我异象清楚, 知你恢复所是。
2. 你从死里复活能力, 我藉启示知悉;
大能传输藉信经历, 引我到召会里。
3. 你的大能将我释放, 脱离烦扰俗务;
你的大能为我开广进入召会路途。
4. 我今进入地方召会, 愿以你为人位;
外面旧人日渐销毁, 心向你绝对。
5. 我接受你作人位, 主, 与你同钉十架;
里面之人得着恢复, 你在我心安家。
6. 当众肢体都愿舍己, 荣耀身体得显;
人数虽多, 人位同一, 新人在地出现。
7. 召会生活——一个新人——显于各地召会;
你的身体是团体人, 显出一个人位。

注: 每节均重复第二行歌辞二次。

Hymn 1220

1. Remove the veils, Lord, from my heart;
True revelation grant to me;
A vision clear, O Lord, impart
Of Thy recovery.
A vision clear, O Lord, impart
Of Thy recovery.
2. By revelation I perceive
The power that raised Christ from the dead;
When I by faith this power receive,
I to the church am led.
When I by faith this power receive,
I to the church am led.
3. Thy mighty power has set me free
From all the world's distracting things;
An entrance to the local church
This mighty power brings.
An entrance to the local church
This mighty power brings.
4. Once in the local church, I need
To take Thee as my person, Lord;
My outward man each day recede,
My heart is for the Lord.
My outward man each day recede,
My heart is for the Lord.
5. I take Thee as my person, Lord;
I have been crucified with Thee.
My inner man has been restored;
I'm now indwelt by Thee.
My inner man has been restored;
I'm now indwelt by Thee.
6. When all Thy members self forsake,
Thy glorious Body, Lord, is known;
When of Thy Person we partake,
The one new man is shown.
When of Thy Person we partake,
The one new man is shown.
7. The church life is the one new man
In every local church expressed;
Thy Body is a corporate man,
One person manifest.
Thy Body is a corporate man,
One person manifest.